



株主のみなさまへ

第146期 報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

エンシュウ株式会社

TOP MESSAGE

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連結会計年度における我が国経済は、政府による一連の経済政策や日銀の金融緩和を受けた円高是正・株高を背景に、企業収益や雇用情勢は穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら、国際情勢の緊迫化や新興諸国の景気減速・成長鈍化など、海外経済の下振れリスクは依然として解消せず、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは中国をはじめとしたアジア諸国への積極的な営業活動による拡販に努めるとともに、生産効率の向上や原価低減、経費削減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、工作機械関連事業部門及び輸送機器関連事業部門ともに増加したことにより31,060百万円(前期比6.7%増)となりました。損益につきましては、輸送機器関連部門では増益となりましたが、工作機械関連事業部門の利益の減少により、営業利益は1,442百万円(前期比34.0%減)、経常利益は1,565百万円(前期比33.1%減)となりました。当期純利益は1,459百万円(前期比29.7%減)となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、外需では堅調な北米市場に加え、アジア、欧州の両市場も緩やかに

回復するものと思われませんが、中国やその他新興国経済の先行きについて、引き続き注視していく必要があります。また、国内市場における設備投資は企業収益が改善傾向を続ける中で、緩やかな増加基調をたどると予想されます。

当社グループといたしましては、安定した経営基盤の確立を目指して全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、146期の配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分でなく、その実施を見送らせていただくことといたしました。

平成26年6月



代表取締役社長
土屋隆史



本社及び高塚工場



浜北工場

経営理念
売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

CONTENTS

目次

株主のみなさまへ	1
事業の概況	3
エンシュウのグローバルネットワーク	5
トピックス	6
連結事業別売上及び受注の状況	8
業績の推移	8
連結財務諸表	9
個別財務諸表	11
株式の状況	13
会社の概況	14

REVIEW OF OPERATIONS

事業の概況

平成25年4月1日から平成26年3月31日に至る当社グループ第146期連結会計年度の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械関連事業部門

当連結会計年度における日本工作機械業界(日工会)の受注総額は1兆2,048億円(前期比5.7%増)となり、昨年を若干上回りました。内需は4,220億円(前期比16.3%増)、外需は7,828億円(前期比0.8%増)となり、受注総額は4年連続で1兆円を超える結果となりました。

工作機械事業につきましては、中国、アジアを中心とした需要に対し、日本および海外子会社において生産対応をしております。結果中国を始めとしたアジア地域への売上が増加したものの、現地法人棚卸資産の評価損を計上したことにより、増収減益となりました。

また、光関連事業につきましては、レーザーシステムインテグレーターとして、国内外を問わず高出力半導体レーザー加工機を中心に溶接及び焼入れ加工設備の売上拡大を進めてまいりました。

以上の結果、工作機械関連事業部門の売上高は19,278百万円(前期比2.2%増)、営業利益は1,143百万円(前期比41.6%減)となりました。

工作機械事業におきましては、海外需要の情報を素早く取り込み受注できるように、更に海外子会社との連携を強化し販売拡大に努めてまいります。自動車関連産業に限らず、あらゆる市場に対し、汎用機からターンキーシステムまで顧客ニーズにマッチした新しい製品とサービスを提供してまいります。品質向上、コスト低減、短納期対応に努め、お客様に信頼されるように努めてまいります。



▲シリンダーブロック加工ライン



▲トランスミッション加工機

光関連事業につきましては、高出力半導体レーザー以外のレーザーも採用し、従来対応出来なかった分野に対して挑戦することにより、尚一層の売上拡大に努めてまいります。

輸送機器関連事業部門

当連結会計年度におきましては、主力製品であります大型二輪車用、バギー車用エンジン部品の生産において、前期より進めてまいりました鍛造、鋳造、メッキ工程の内製化ラインの立ち上げ、主に先進国向けの生産台数増加への対応、継続的な原価低減活動の推進に努めてまいりました。

以上の結果、輸送機器関連事業部門の売上高は11,702百万円(前期比15.1%増)、営業利益は242百万円(前期比19.8%増)となりました。

今後につきましては、大型二輪車用、バギー車用エンジン部品の生産数は先進国向けの需要増加を受け、回復基調に推移していくと予想されますが、より新規性が高く、魅力ある製品への対応、更なる原価低減による価格競争力の強化を図り、収益体質の強化に努めてまいります。また、連結現地法人となるENSHU VIETNAM Co.,Ltd.の計画通りの稼働に努め、アセアン地域での需要に対応するとともに、収益向上に繋げ、ものづくり体質の強化に取り組んでまいります。

ベトナム工場ピストン事業

鋳造粗材から加工完了までの一貫生産



▲800t 鍛造



▲機械加工



▲鉄メッキ

GLOBAL NET WORK

エンシュウのグローバルネットワーク

ENSHU(USA) CORPORATION



ENSHU GmbH



ENSHU (QINGDAO) LIMITED
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.

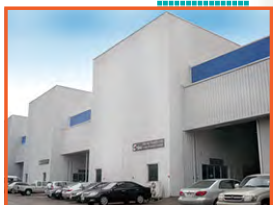
ENSHU Limited (Head Office)



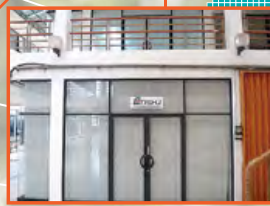
ENSHU Limited (Hamakita Factories)



ENSHU Limited
Wuxi Representative Office



ENSHU(Thailand) Limited
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.



PT. ENSHU INDONESIA



ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.



工作機械事業

システム対応型小型立形マシニングセンタGE15Ve/GE30Veの 国内展開とイージー・オートメーションのご提案

当社は、小型の量産部品加工分野における立形マシニングセンタの更なる活用を目指し、海外先行販売したGE15Veの国内販売を開始しました。小型部品を小さな機械で加工することは、最適化の観点から最も有利であることは明らかです。GE15Veは、小型ながらハイパワーと高速性を両立し、卓越した生産性を実現します。

一方、当社はイージー・オートメーションという新コンセプトを提唱いたしました。量産加工のために当社が築き上げた高度なノウハウの数々をこのイージーという言葉に込め、お客様の量産加工を強力にサポートしてまいります。GE30Veはイージー・オートメーションを具現化した機械となります。

これからも当社は堅実な改善を重ね、お客様にご満足いただけるよう努力を続けてまいります。



▲METALEX2013(タイ・バンコク)

GE15Ve GE30Ve



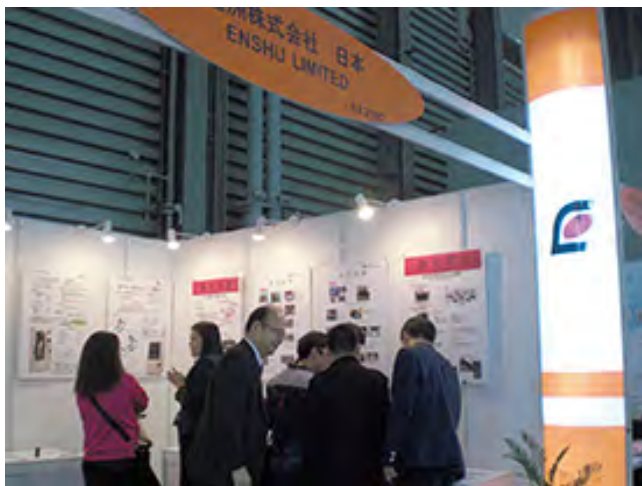
光関連事業

LWPC2014(中国・上海)に出展

2014年3月中国上海で行われた2014 Laser World Photonics China(LWPC)に出展いたしました。中国は、世界一の巨大なものづくり市場であり、レーザー製品に関しても、すでに日本をしのぐ大きな市場になりつつあります。このLWPCも年々出展者数、来場者数ともに増加しており、発展を続ける中国の激光(レーザー)市場を代表する展示会となっております。

当社にとっても3回目となるLWPCは、3月18日～20日の3日間で、中国ローカル企業を中心としたお客様に来場を戴き、レーザー加工技術の紹介をいたしました。

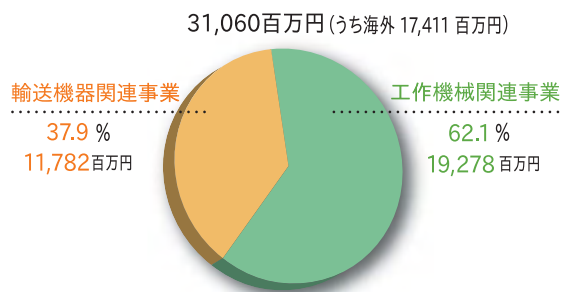
確かなレーザー加工技術を武器に、加工システムの提案を行い中国市場での拡販に一層の努力をしております。



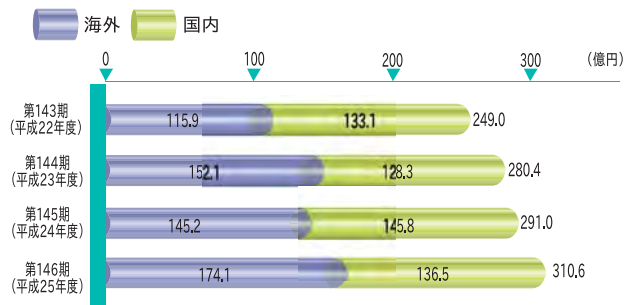
REPORT

連結事業別売上及び受注の状況 第143期～第146期 業績の推移

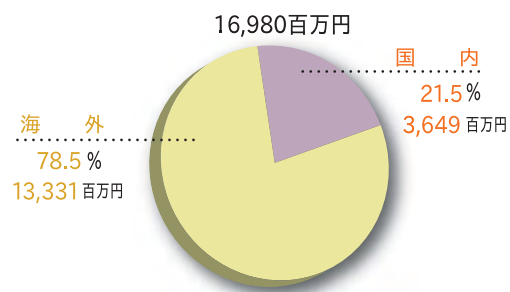
事業別売上高



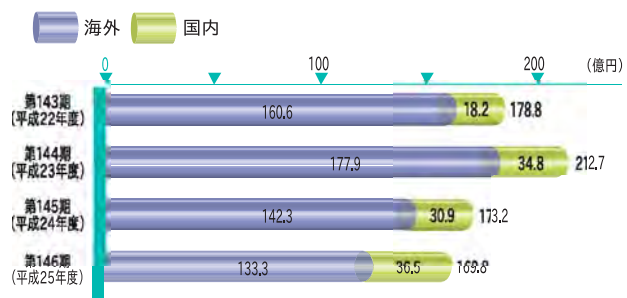
売上高



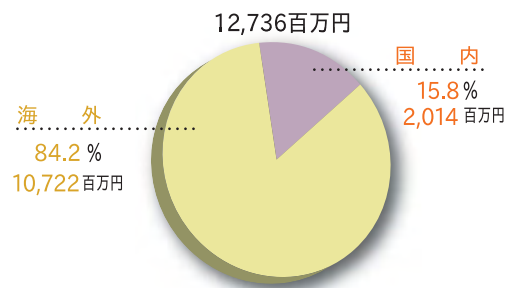
工作機械関連事業の受注高



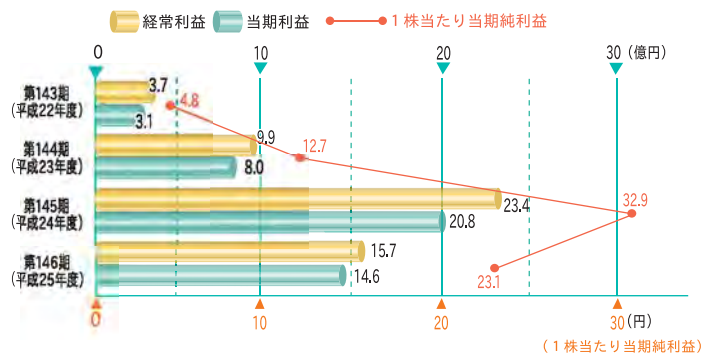
工作機械関連事業の受注高



工作機械関連事業の受注残高



利益



CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS 連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額	項 目	金 額
●資産の部●		●負債の部●	
流 動 資 産	20,178	流 動 負 債	14,486
現金及び預金	2,829	支払手形及び買掛金	6,292
受取手形及び売掛金	5,404	短期借入金	5,818
商品及び製品	3,881	リース債務	64
仕掛品	4,739	未払法人税等	94
原材料及び貯蔵品	1,281	賞与引当金	403
繰延税金資産	176	その他の他	1,812
信託受益権	1,139	固 定 負 債	13,574
その他の他	733	長期借入金	7,885
貸倒引当金	△ 8	リース債務	182
固 定 資 産	15,787	再評価に係る繰延税金負債	1,820
有 形 固 定 資 産	15,170	役員退職慰労引当金	46
建物及び構築物	2,923	退職金給付に係る負債	3,187
機械装置及び運搬具	3,576	資産除去債務	288
土地	7,387	その他の他	164
リース資産	47	負 債 合 計	28,060
建設仮勘定	867	●純資産の部●	
その他の他	368	株 主 資 本	5,032
無 形 固 定 資 産	206	資本金	4,640
リース資産	187	資本剰余金	1,230
その他の他	19	利益剰余金	△775
投資その他の資産	410	自己株式	△63
投資有価証券	79	その他の包括利益累計額	2,795
その他の他	415	その他有価証券評価差額金	1
貸倒引当金	△ 84	土地再評価差額金	3,409
資 産 合 計	35,965	為替換算調整勘定	320
		退職金給付に係る調整累計額	△936
		少 数 株 主 持 分	77
		純 資 産 合 計	7,905
		負 債 及 び 純 資 産 合 計	35,965

連結損益計算書(要旨) 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

(単位: 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
売 上 高	31,060
売 上 原 価	26,455
売 上 総 利 益	4,604
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,162
営 業 利 益	1,442
営 業 外 収 益	507
営 業 外 費 用	385
経 常 利 益	1,565
特 別 利 益	33
特 別 損 失	15
税金等調整前当期純利益	1,583
法人税、住民税及び事業税	231
法人税等調整額	△113
少数株主損益調整前当期純利益	1,464
少数株主利益	5
当 期 純 利 益	1,459

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

(単位: 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142
現金及び現金同等物に係る換算差額	133
現金及び現金同等物の増減額	175
現金及び現金同等物の期首残高	2,423
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	230
現金及び現金同等物の期末残高	2,829

連結株主資本等変動計算書 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

(単位: 百万円 百万円未満は切捨て)

残高及び変動事由	株 主 資 本				
	資 本金	資 本 利 余 金	利 益 利 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成25年4月1日残高	4,640	1,230	△2,063	△60	3,746
連結会計年度中の変動額					
当 期 純 利 益			1,459		1,459
連 結 範 囲 の 変 動			△170		△170
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,288	△3	1,285
平成26年3月31日残高	4,640	1,230	△775	△63	5,032

残高及び変動事由	その他の包括利益累計額					少数株主 持 分	純資産 合 計
	そ の 他 有 価 証券 評価差額金	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 的 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
平成25年4月1日残高	14	3,409	△70	—	3,353	56	7,157
連結会計年度中の変動額							
当 期 純 利 益							1,459
連 結 範 囲 の 変 動							△170
自己株式の取得							△3
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)	△12		391	△936	△557	20	△537
連結会計年度中の変動額合計	△12	—	391	△936	△557	20	747
平成26年3月31日残高	1	3,409	320	△936	2,795	77	7,905

NON-CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS 個別財務諸表

個別貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位: 百万円 百万円未満は切捨て)

項目	金額
●資産の部●	
流動資産	17,809
現金及び預金	1,483
受取手形	779
売掛金	7,266
商品及び製品	1,185
仕掛品	4,526
原材料及び貯蔵品	961
未収入金	10
前払金	8
前払費用	42
信託受益権	1,139
関係会社短期貸付金	102
未収消費税等	257
その他の	48
貸倒引当金	△3
固定資産	16,102
有形固定資産	
建物	2,019
構築物	193
機械及び装置	2,682
車両運搬具	18
工具、器具及び備品	295
土地	7,387
リース資産	3
建設仮勘定	244
無形固定資産	
ソフトウェア	13
リース資産	187
施設利用権	4
投資その他の資産	
投資有価証券	14
関係会社株式	402
出資	0
関係会社出資金	1,305
関係会社長期貸付金	1,264
従業員に対する長期貸付金	42
破産更生債権等	82
長期前払費用	4
その他の	19
貸倒引当金	△84
資産合計	33,911

項目	金額
●負債の部●	
流動負債	12,783
支払手形	2,220
買掛金	3,043
短期借入金	5,818
リース債務	50
未払金	778
未払費用	103
未払法人税等	73
前受金	22
預り金	116
賞与引当金	403
設備関係支払手形	132
その他	20
固定負債	12,613
長期借入金	7,885
リース債務	159
再評価に係る繰延税金負債	1,820
繰延税金負債	0
退職給付引当金	2,251
役員退職慰労引当金	46
資産除去債務	288
長期預り保証金	162
負債合計	25,397
●純資産の部●	
株主資本	5,102
資本金	4,640
資本剰余金	1,230
資本準備金	1,230
利益剰余金	△704
その他利益剰余金	△704
繰越利益剰余金	△704
自己株式	△63
評価・換算差額等	3,411
その他有価証券評価差額金	1
土地再評価差額金	3,409
純資産合計	8,513
負債及び純資産合計	33,911

個別損益計算書(要旨) 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
売 上 高	29,027
売 上 原 価	25,002
売 上 総 利 益	4,025
販売費及び一般管理費	2,483
営 業 利 益	1,542
営 業 外 収 益	549
営 業 外 費 用	381
経 常 利 益	1,710
特 別 利 益	29
特 別 損 失	15
税引前当期純利益	1,725
法人税、住民税及び事業税	132
当 期 純 利 益	1,592

個別株主資本等変動計算書 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

残高及び変動事由	資本金	株 主 資 本					株主資本合計
		資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計	繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成25年4月1日残高	4,640	1,230	1,230	△2,297	△2,297	△60	3,513
事業年度中の変動額							
当期純利益				1,592	1,592		1,592
自己株式の取得						△3	△3
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計	—	—	—	1,592	1,592	△3	1,588
平成26年3月31日残高	4,640	1,230	1,230	△704	△704	△63	5,102

残高及び変動事由	評価・換算差額等			純資産合計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	土 地 再 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
平成25年4月1日残高	14	3,409	3,424	6,938
事業年度中の変動額				
当期純利益				1,592
自己株式の取得				△3
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△12		△12	△12
事業年度中の変動額合計	△12	—	△12	1,575
平成26年3月31日残高	1	3,409	3,411	8,513

STOCK REPORT

株式の状況

1. 株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,534,546株 (自己株式 423,175株を含む)
資本金	4,640,850,000円

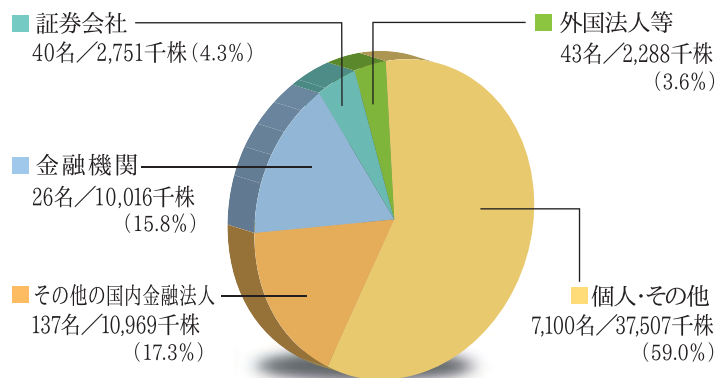
2. 大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株 (10.23%)
エンシュウ取引先持株会	5,413千株 (8.57%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.16%)
株式会社みずほ銀行	1,572千株 (2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.24%)
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,001千株 (1.58%)
株式会社損害保険ジャパン	846千株 (1.34%)
エンシュウ従業員持株会	792千株 (1.25%)
株式会社SBI証券	704千株 (1.11%)

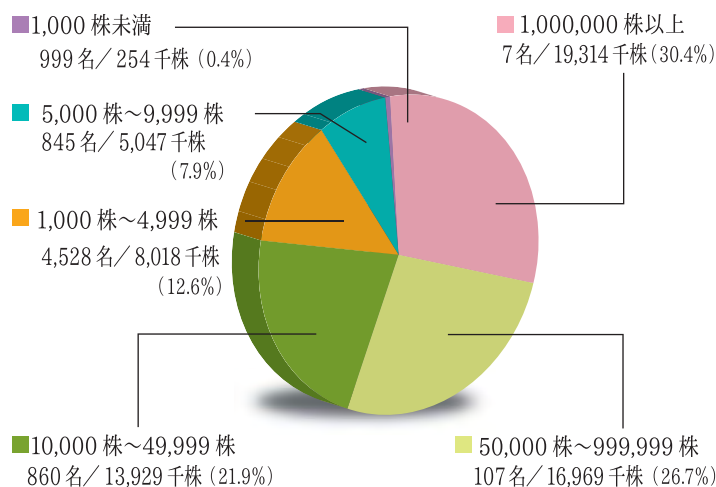
(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 7,346名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計: 7,346名 / 63,534千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE

会社の概況

商号	エンシュウ株式会社（英文 ENSHU Limited）
設立	大正9年2月5日
資本金	46億4,085万円
発行済株式総数	63,534,546株
株主数	7,346名
従業員数	944名（連結）
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品 半導体レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15（スターハイツ）
電話 03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43（ファサード江坂ビル）
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	(アメリカ・シカゴ)
ENSHU GmbH	(ドイツ・フランクフルト郊外)
ENSHU (Thailand) Limited	(タイ・バンコク)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	(タイ・バンコク)
PT.ENSHU INDONESIA	(インドネシア・ジャカルタ)
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	(中国・青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	(中国・青島)
ENSHU Limited Wuxi Representative Office	(中国・無錫)
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	(ベトナム・ハノイ)

役員

(平成26年6月27日現在)

代表取締役社長	土屋隆史
常務取締役	山下晴央
取締役	富田敏弘
取締役	鈴木敦士
取締役	勝井真
取締役	勝倉宏和
社外取締役	岡部比呂男
常勤監査役	中村和夫
常勤監査役	中村泰之
監査役	石塚尚彦
監査役	嶋津忠彦

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当の基準日
(期末配当) 3月31日
(中間配当) 9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬
なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主となります。

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告 (<http://www.enshu.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の上場 東京証券取引所市場第一部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券は取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買収・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元未満株式(1~999株)を 保有されている株主のみなさまへ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から999株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】
証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。

ホームページアドレス <http://www.enshu.co.jp>